

経営のキーワード

１人権・インクルーシブ教育

２安全・防災教育

３コミュニティ・スクール

４ICTを活用した授業改善

５当たり前

６支持的集団づくり

７働き方改革

平成３１年度　荒尾市立桜山小学校グランドデザイン

【学校目標】　　健やかで、確かな学力と豊かな心を身につけ、未来を力強く切り拓く子どもの育成

【スローガン】　「（夢・チャレンジ・仲間とともに）」

【教育理念】　　人間尊重の精神、すべては子どものためにある、地域とともに歩く

学校組織の活性化

風を入れる



求める学校の姿

○活気あふれる学校

○礼儀正しく秩序ある学校

○整備された美しい学校

○保護者・地域に開かれた学校

【こんな子どもに】徳：思いやりのある子　知：進んで学習する子　体：明るくたくましい子

【保護者の願い】

学力の向上、思いやりの教育、個性を伸ばす教育、体力の向上、命を大切にする教育

【地域の願い】

学力の向上、思いやりの教育、個性を伸ばす教育、体力の向上、命を大切にする教育

上位５項目を表記

Ｈ２９．１２月調査

【未来を切り拓く子どもとは】＝（汎用的資質能力）＝新学習指導要領における育成すべき資質・能力を備えた子ども

●＝学びに向かう力・人間性等の涵養（どのように社会・世界と関わり、よりよい人生を送るか）

■＝生きて働く知識・技能の習得（何を理解しているか、何ができるか）

▲＝未知の状況にも対応できる思考力・判断力・表現力等の育成（理解していること・できることをどう使うか）

求める教職員の姿

○教育的愛情と人権感覚を磨いていく教師

○使命感と向上心をもち、組織の一員として実践する教師

○児童・保護者・地域から信頼される教職員

荒尾市教育重点事項： ※アンケート調査により変容把握、情報提供

《あらおベーシック：教職員の意識改革》　→　学力向上　←　《メディア・コントロール：家庭、地域との連携と協働》

**Ｂ**

**Ａ**

「地域とともに歩く学校」づくり

１家庭・地域との連携・協働を図るＣＳ発足

２学校支援ボランティアとの連携

３ＣＳ委員、保護者による学校評価システム構築

４四中校区幼・保、小、中との連携

地域とともに歩く

「思いやりのある子」の育成

１すべての教育活動における人権

教育の充実（くらしのアンケート活用）

２道徳教育の充実

３交流教育の充実（合同学習等）

４いじめ・不登校への対策強化

５質の高い読書活動

※マズローの欲求５段階

支持的集団づくり

支援の構造化（全て：一次的支援、一部：二次的支援、特定：三次的支援）

教育環境の充実（人が環境をつくり、環境が人をつくる）

健やかな体

「明るくたくましい子」の育成

１課題体力の向上

２校内外の生活規律の定着

３防災教育の充実

４心の健康教育の推進（ストレスへの対処等）

５食育の推進

６メディア・コントロール力の育成

確かな学力

豊かな心

対人関係能力の育成

１特別活動リーフレット（国立教育研究所）の活用

２年間計画に沿った学級活動の実施

３異年齢の関わり合いを深める児童会・クラブ・学校行事の充実

４集団アセスメント調査の活用

※なすことによって学ぶ（実体験）

全ての活動において、「何故」「何のために」、「私は」「私たちは」の問いに答えるレベルへ！・１人の１０歩より１０人の１歩

学校・家庭・地域の協働プロジェクト

心のアンケート、標準学力検査、全国学力学習状況調査・県学力調査、体力テスト、校内自己評価、学校評価、学校関係者評価等による検証

地域貢献プロジェクト部会

防災プロジェクト部会

**さくらやま学校運営協議会**

**職員、児童、地域との熟議**

学校支援プロジェクト部会

**〈コミュニティ・スクール構想〉**

「進んで学習する子」の育成

１ＩＣＴを活用した授業改善

２児童主体の授業「あらおベーシック」

３学習規律の徹底（四中校区授業名人）

４学力向上対策プランの確実な実施

５個別指導の充実

６家庭学習の定着

※エビングハウスの忘却曲線

**平成３０・３１年度荒尾市教育委員会**

**学力充実研究推進事業指定校**